

# インターアクト<sup>®</sup> INTERACT<sup>®</sup> NT

サイドフォールド<sup>®</sup>テーブル[インターアクト<sup>®</sup> NT ]シリーズ

## 取扱説明書

このたびは、オカムラ製品 インターアクト NTシリーズ を  
お買い上げいただきましてありがとうございます。

本書は インターアクト NTシリーズ を正しくご使用いただくためのガイドブックです。

ご使用前に本書をよくお読みになり、  
内容をご理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。  
また、常にお手元においてご使用されることをお勧めいたします。

okamura

### 安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

**⚠ 注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。破損や転倒の恐れがあります。

この製品を踏み台として使用したり、運搬用として使用しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。

天板上に座らないでください。転倒してケガをする恐れがあります。

移動は必ず長手方向(表示シールの移動方向)におこなってください。転倒してケガや破損することがあります。

ネ스팅やレイアウトの際、やむをえず、前後方向に移動する場合は、不安定な状態になりますので、転倒に注意しておこなってください。

テーブルの使用中は、操作レバーを操作しないでください。

テーブルを使用中は、操作レバーを操作しないでください。転倒してケガをする恐れがあります。

確実にロックがかかっていることを確認してください。転倒してケガをする恐れがあります。

天板をトップアップ/トップダウンした時には、確実にロックがかかっていることを確認してください。転倒してケガをする恐れがあります。

可動部分・スキマには、指や手を入れないでください。

天板裏面の機構部や幕板リンク部の可動部やスキマには、絶対に指や手を入れないでください。スキマや機構部分にはさまれてケガをする恐れがあります。

破損や転倒の恐れがありますので、以下のことがらに注意してください。

ボルトやネジのゆるみによるガタツキが生じた時は、締めなおしてください。

部品が外れたまま使用しないでください。

### 分解・修理について

お客様による分解・修理は、大変危険ですので、必ず弊社販売窓口までご連絡ください。

ボルトやネジが緩んだまま使わないでください。本体が壊れてケガをする恐れがあります。

改造はしないでください。故障や事故の原因となります。

お客様による改造は、破損と事故の原因になります。又、その場合の責任は弊社として負いかねます。改造が必要な場合は、事前に弊社販売窓口までご連絡ください。

最大積載質量を超えるものをのせないでください。転倒や破損の恐れがあります。

### 設置の際のお願い

屋内でのご使用をお願いいたします。

屋外や水のかかるところ等では、反り・カビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因となりますので避けてください。

窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因となりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因となりますので避けてください。

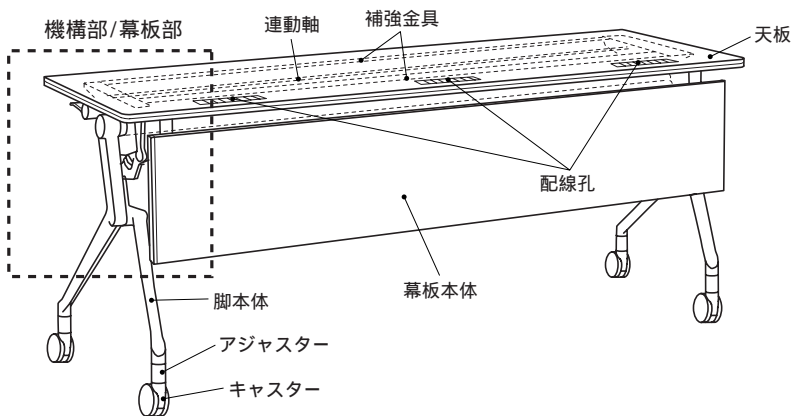
水平を保つように設置してください。

設置するときは、必ず本体を水平を保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置すると、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。

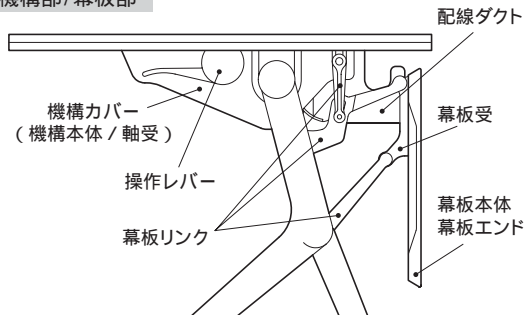
### 適切な換気の励行に関するお願い

購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分おこなうようにしてください。室内が著しく高温多湿となる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにしてください。

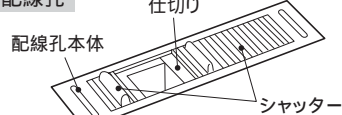
## 各部の名称



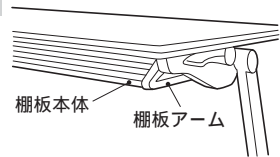
### 機構部/幕板部



### 配線孔



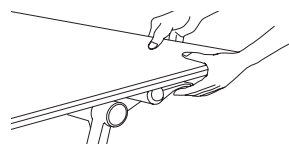
### 棚板



## ご使用方法

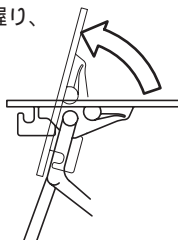
### 天板(トップアップ/トップダウン)

天板下の操作レバーにより、簡単にトップアップ/トップダウンがおこなえます。



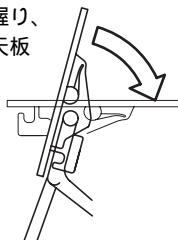
#### トップアップ

天板下の操作レバーを握り、もう一方の手で上方に天板を上げてください。操作レバーを放してください。「カチッ」とロックされるまで上方に引き上げてください。



#### トップダウン

天板下の操作レバーを握り、もう一方の手で下方に天板を下げてください。操作レバーを放してください。「カチッ」とロックされたことを確認してください。



## ご使用方法

### 移動方法

天板のふちに手を掛けて押してください。  
トップアップ/トップダウン時とも移動できます。

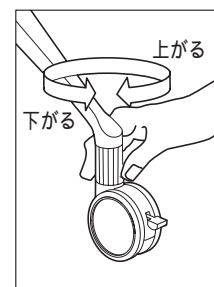
### ⚠ 注意

移動は、キャスターのストッパーレバーをFREE状態にし、長手方向(表示シールの移動方向)におこなってください。ネ스팅やレイアウトの際、やむをえず、前後方向に移動する場合は、不安定な状態になりますので、転倒に注意しておこなってください。

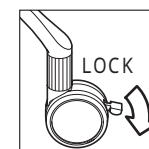
### アジャスター/キャスターストッパー

#### アジャスター

キャスター上部のアジャスターを回して高さ調整(最大10ミリ)ができます。右にまわすと天板高さが上がり、左に回すと天板高さが下がります。



#### キャスターストッパー



レバーを下げると車輪の回転が固定(LOCK)されます。



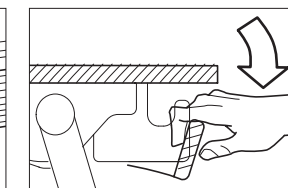
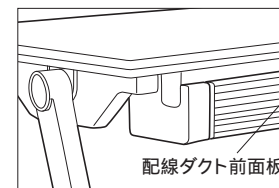
レバー上部に赤色表示が出ます。



レバーを上げると車輪の回転固定が解除(FREE)され、回転できます。

### 配線ダクト

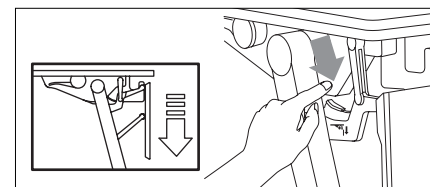
OAタップや配線コードなどを収納することができます。収納する際は、配線ダクト前面板を下方に下げながらおこなってください。



### 幕板の開閉(幕板付タイプ)

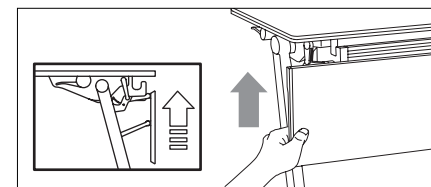
#### 幕板の開け方

幕板左右のロックボタンを押してロックを解除してください。幕板が下方に下がり配線などの作業がしやすくなります。



#### 幕板の閉め方

幕板本体下部を持って「カチッ」とロックされるまで上方に持ち上げてください。幕板を開けた状態で天板のトップアップを行なうと幕板は閉じます。



### ⚠ 注意

可動部分・スキマには、絶対に指や手を入れないでください。スキマや機構部分にはさまれてケガをする恐れがあります。

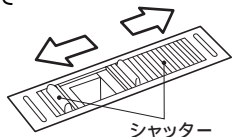
## ご使用方法

### 配線孔（配線孔付タイプ）

天板面にはシャッター式配線孔が装備されています。

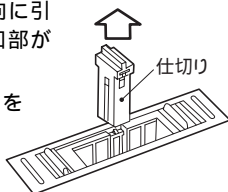
#### 配線孔として使用する場合

シャッターをあけて配線孔から電源コードなどを通してください。

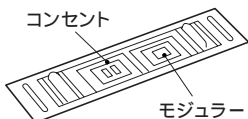


センターの仕切りを上向に引き抜いて取り外すと開口部が広く使用できます。

通線後は、必ず仕切りを差し込んでください。



#### コンセント・モジュラーを使用する場合



コンセント、モジュラーを取り付けると、天板面から簡単に、電源や情報ケーブルなどへのアクセスがおこなえます。コンセント、モジュラーは専用（別売）をご使用ください。

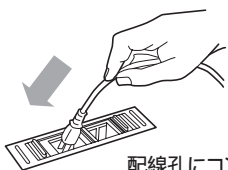


コンセントとモジュラーを並べてご使用の場合、電源からのノイズにより伝達不良が発生する可能性があります。

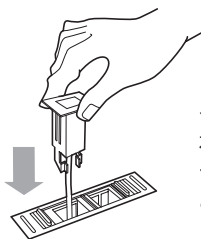
コンセント：4L15PA-G688  
モジュラー：4L15LA-G688

### コンセント、モジュラーの取り付け/取りはずし方法

#### 【取り付け方法】

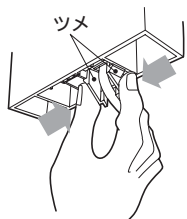


配線孔にコンセントまたは、モジュラーのケーブルを通してください。

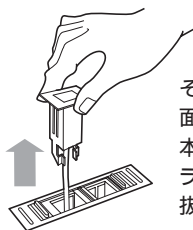


その後、コンセント本体またはモジュラー本体を「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

#### 【取りはずし方法】



配線孔裏面からコンセントまたは、モジュラーのツメを指ではさんでツメのストッパー部分はずし、上へ押し上げてください。



その後、配線孔上面からコンセント本体またはモジュラー本体を引き抜いてください。

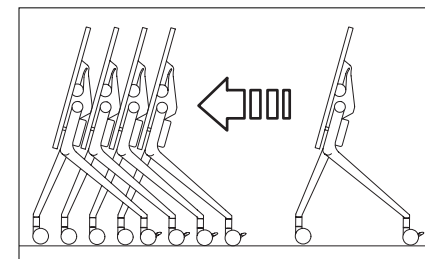
## ご使用方法

### 収納

平行ネスティングにより効率よく収納することができます。



収納の際は、前後方向の移動になり不安定な状態になりますので、転倒に注意しておこなってください。脚と脚があたらないように注意してください。破損することがあります。

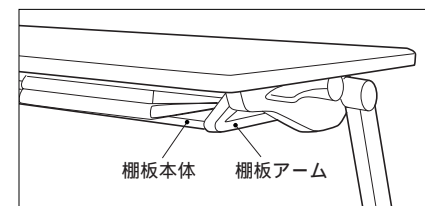


### 棚板（棚板付タイプ）

書類やファイルなどが収納できます。(A4サイズ横置き)



棚板には、大きなバッグなどを無理に入れないでください。棚板本体が曲がり脱落や破損することがあります。



## 最大積載質量について



天板および棚板には最大積載質量を超えるものを乗せないでください。転倒や破損の恐れがあります。

载荷部	最大積載質量
天板	60kg(等分布質量)
棚板	10kg(等分布質量)

等分布質量とは.....  
天板や棚板に均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

## 「故障かな?」と思う前にご確認ください

不具合内容	ご確認ください	処理方法	掲載項
キャスターの転がりが悪い	キャスターに異物(糸くずや毛糸など)が、からみついていますか?	異物を取り除くか、新しいキャスターと交換してください。キャスターの交換は、弊社販売窓口にご相談ください。	—
	キャスターストッパーが、LOCK状態ではありませんか?	キャスターストッパーレバーを上上げて、FREE状態にしてください。	アジャスター/キャスターストッパーの項
天板がガタつく	トップアップ/トップダウンのストッパーがきちんとロックされていますか?	天板下の操作レバーを握って、下方に天板を下げて「カチッ」とロックされたことを確認してください。 天板下の操作レバーを握って、上方に天板を上げて「カチッ」とロックされたことを確認してください。	天板(トップアップ/トップダウン)の項
	床は平らですか?	キャスター上部のアジャスターを回して調整をしてください。	アジャスター/キャスターストッパーの項
異音が発生	テーブルのどの部分から音が発生していますか?	お買い求めの販売店又は、弊社販売窓口にご相談ください。	—

## 末永くお使いいただくためのお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

### 使用上のご注意とメンテナンスについて

液体などをこぼした場合は、すばやく拭き取ってください。

アルコール・シンナー・ベンジンなどをこぼすと、変色・変質・破損の原因になることがあります。

定期的なゆるんだボルトやネジの増し締めをお願いします。

使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず増し締めしてください。

この取扱説明書をいつでも取り出せるように大切に保管してください。

こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。

保証期間終了後の有償サービスもご利用ください。

### お手入れについて

#### 日常のお手入れ

日常のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布でおこなってください。

#### 著しく汚れた場合のお手入れ

柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液（1～3%）に濡らし、強く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

#### お手入れの際のご注意

ドライヤーや鋭利なもののご使用は避けてください。傷ついたり変形して使用できなくなることがあります。

化学雑巾は絶対にお使いにならないでください。変色などの原因となります。

市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

### 主な材質と表面仕上げ

	部 位	主な材質	表面仕上げ
天板	表面材	メラミン化粧板	—
	芯 材	パーティクルボード	—
	縁 材	ABS ABS	—
機構	本 体	スチール	樹脂焼付塗装
	軸 受	ポリアセタール POM	—
	連結管	スチールパイプ	樹脂焼付塗装
	カバー	ABS ABS	—
	補強金具	スチールパイプ	樹脂焼付塗装
	操作レバー	ABS ABS	—
	運動軸	スチールパイプ	樹脂焼付塗装
脚	本 体	アルミ	樹脂焼付塗装
	キャスター	ナイロン PA	—
	アジャスター	ナイロン PA	—
幕板	本 体	ABS ABS	—
	エンド	ABS ABS	—
	リンク/受	ナイロン PA	—
配線	配線孔本体	ABS ABS	—
	シャッター	ポリエチレン PE	—
	ダクト	ABS ABS	—
棚板	アーム	ナイロン PA	—
	本 体	スチールパイプ	樹脂焼付塗装

プラスチック部品には、資源の分別回収を容易にすることを目的として、材質表示が施されています。リサイクルにお役立てください。

### 保証の明細

#### 1) 保証項目

保証期間は、社団法人 日本オフィス家具協会（JOIFA）のガイドラインに基づき、ご購入の日から下記の年限とさせていただきます。

1年保証	外観表面仕上げ	塗装・樹脂部品の変・褪色、レーザー・クロスの摩耗
2年保証	機構部・可動部	引出し・スライド機構 扉の開閉、錠前・昇降機構などの故障
3年保証	構造部材	強度・構造体に係わる破損

- 1 保証期間経過後の修理は有料にて承ります。
- 2 保証期間内でも、次の場合は有料となります。

火災、天災による損傷の場合。

使用上の誤りや改造などお客様の責任に帰すると認められた場合。

- 3 保証は、通常のお手入れやメンテナンスが行われていることが前提となります。

#### 2) 修理用部品の保有期間について

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。

### アフターサービスについて(有料)

保証期間終了後も修理により、機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っています。

修理は製品の製造中止後10年間とさせていただきます。

修理に必要な期間などは修理の内容により違いがあります。

修理とは、今まで使っていた製品を部品の交換などにより再び支障なく使える状態に戻す処置。

アフターサービス・メンテナンス契約などについてのお問合せは

(株)オカムラ サポートアンドサービス **フリーダイヤル ☎ 0120-448-105**

### 不要製品の引き取りについて(有料)

不要になった本製品などのお引き取りをご希望の場合は、適正な処理を行う廃棄物運搬業者と廃棄物処理業者をご紹介し、有料にて承っています。弊社販売窓口までご連絡ください。回収した製品は、適正にリサイクルされます。また、お客様にて廃棄処分する場合は、リサイクルへの配慮と、環境への影響を最小限に抑える工夫をしていただきますようお願いいたします。

よい品は結局おトクです

# オカムラ

株式会社 岡村製作所 オフィス製品部

ホームページアドレス <http://www.okamura.co.jp/>

お問い合わせ・ご相談は◎お客様サービスセンターへ

**フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060** 月曜～金曜(祝祭日を除く) 9:00～18:00